

地域リハビリテーション支援事業 実施計画書

資料6-2

I 事業実施体制等													
1	医療機関名 社会医療法人社団 慈生会 等潤病院												
2	二次保健医療圏名 区東北部												
3	事業実施予定年月日 平成29年4月1日から平成32年3月31日まで												
4	事業実施予定地域 ※区市町村名を記入してください <table border="1"> <tr> <th>二次保健医療圏内</th> <th>二次保健医療圏外</th> </tr> <tr> <td>足立区、荒川区、葛飾区</td> <td></td> </tr> </table>	二次保健医療圏内	二次保健医療圏外	足立区、荒川区、葛飾区									
二次保健医療圏内	二次保健医療圏外												
足立区、荒川区、葛飾区													
地域リハビリテーション支援センターの運営体制（予定）													
5	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th colspan="2">等潤病院内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4"> 職種・人数 (H26.4.1現在) </td> <td> ・医師 常勤：2名 非常勤：0名 </td> <td> ・言語聴覚士 常勤：6名 非常勤：0名 </td> </tr> <tr> <td> ・（うちリハ専門医） 常勤：0名 非常勤：0名 </td> <td> ・ソーシャルワーカー等 常勤：4名 非常勤：0名 </td> </tr> <tr> <td> ・理学療法士 常勤：25名 非常勤：0名 </td> <td> ・事務職員 常勤：2名 非常勤：0名 </td> </tr> <tr> <td> ・作業療法士 常勤：12名 非常勤：0名 </td> <td> ・その他 常勤：0名 非常勤：0名 </td> </tr> </tbody> </table>	設置場所	等潤病院内		職種・人数 (H26.4.1現在)	・医師 常勤：2名 非常勤：0名	・言語聴覚士 常勤：6名 非常勤：0名	・（うちリハ専門医） 常勤：0名 非常勤：0名	・ソーシャルワーカー等 常勤：4名 非常勤：0名	・理学療法士 常勤：25名 非常勤：0名	・事務職員 常勤：2名 非常勤：0名	・作業療法士 常勤：12名 非常勤：0名	・その他 常勤：0名 非常勤：0名
設置場所	等潤病院内												
職種・人数 (H26.4.1現在)	・医師 常勤：2名 非常勤：0名	・言語聴覚士 常勤：6名 非常勤：0名											
	・（うちリハ専門医） 常勤：0名 非常勤：0名	・ソーシャルワーカー等 常勤：4名 非常勤：0名											
	・理学療法士 常勤：25名 非常勤：0名	・事務職員 常勤：2名 非常勤：0名											
	・作業療法士 常勤：12名 非常勤：0名	・その他 常勤：0名 非常勤：0名											
予定する連携施設 ※連携施設が複数ある場合は、別紙による説明可													
6	<table border="1"> <thead> <tr> <th>連携予定</th> <th colspan="2">連携予定施設名称・所在地・連携内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有</td> <td> (医療・介護施設名) (所在地) 常楽診療所 足立区 (訪問看護ステーション常楽) (通所リハビリテーション常楽) (訪問リハビリテーション常楽) </td> <td> (連携内容) ・通所、訪問事業者との連絡会の開催 ・各居宅部会への連絡 </td> </tr> <tr> <td>無</td> <td colspan="2"> 介護老人保健施設 イルアカーサ </td> </tr> </tbody> </table>	連携予定	連携予定施設名称・所在地・連携内容		有	(医療・介護施設名) (所在地) 常楽診療所 足立区 (訪問看護ステーション常楽) (通所リハビリテーション常楽) (訪問リハビリテーション常楽)	(連携内容) ・通所、訪問事業者との連絡会の開催 ・各居宅部会への連絡	無	介護老人保健施設 イルアカーサ				
連携予定	連携予定施設名称・所在地・連携内容												
有	(医療・介護施設名) (所在地) 常楽診療所 足立区 (訪問看護ステーション常楽) (通所リハビリテーション常楽) (訪問リハビリテーション常楽)	(連携内容) ・通所、訪問事業者との連絡会の開催 ・各居宅部会への連絡											
無	介護老人保健施設 イルアカーサ												
予定する協力施設 ※協力施設が複数ある場合は、別紙による説明可													
7	<table border="1"> <thead> <tr> <th>協力予定</th> <th colspan="2">協力予定施設名称・所在地・連携内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有</td> <td> (医療・介護施設名) (所在地) 各区内の医療機関 足立区、葛飾区、荒川区 各区内の介護施設 足立区、葛飾区、荒川区 各区医師会 足立区、葛飾区、荒川区 </td> <td> (協力内容) ・支援センター協力病院としての各医療機関への連絡 ・支援センター協力施設としての各介護施設への連絡 ・各医師会所属医師への連絡 </td> </tr> <tr> <td>無</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>	協力予定	協力予定施設名称・所在地・連携内容		有	(医療・介護施設名) (所在地) 各区内の医療機関 足立区、葛飾区、荒川区 各区内の介護施設 足立区、葛飾区、荒川区 各区医師会 足立区、葛飾区、荒川区	(協力内容) ・支援センター協力病院としての各医療機関への連絡 ・支援センター協力施設としての各介護施設への連絡 ・各医師会所属医師への連絡	無					
協力予定	協力予定施設名称・所在地・連携内容												
有	(医療・介護施設名) (所在地) 各区内の医療機関 足立区、葛飾区、荒川区 各区内の介護施設 足立区、葛飾区、荒川区 各区医師会 足立区、葛飾区、荒川区	(協力内容) ・支援センター協力病院としての各医療機関への連絡 ・支援センター協力施設としての各介護施設への連絡 ・各医師会所属医師への連絡											
無													

【都におけるリハビリテーション医療推進の方向性（東京都保健医療計画）】

＜計画期間：平成29年4月1日から平成32年3月31日まで＞

地域リハビリテーション支援体制の充実	
今後の更なる高齢化の進展に伴う地域リハビリテーションの重要性を踏まえ、平成23年度から各地域リハビリテーション支援センターが実施している次の3つを柱とした事業をより充実・強化	
地域リハビリテーション提供体制の強化	現場経験が不足する若手理学療法士等の技術等の底上げを図るとともに、地域のかかりつけ医へ各地域リハビリテーション支援センターが得意とする実践的なリハビリテーションに係る知識・技術情報を提供
訪問・通所リハビリテーションの利用促進	訪問又は通所リハビリテーション事業所に対して介護支援専門員との意見交換の場を提供するとともに、介護支援専門員に対してリハビリテーションの知識・技術等に関する研修を実施することにより、訪問・通所リハビリテーションの利用促進
地域リハビリテーション関係者の連携強化	地域リハビリテーション施設、自治体、関係団体等が参画する連絡会を開催し、現状の課題等について意見交換と情報共有を行い、地域リハビリテーションに関わる施設等の連携を推進

II 事業目標（平成29年度から平成31年度まで）

地域リハビリテーション支援センターとしての取組方針（全体目標）

地域のリハビリ従事者、医師、保健師、看護師、社会福祉士、介護支援専門員等と連携を取りながら、急性期～在宅への一貫したリハビリテーションを提供できる体制をつくる。

- 1 若手療法士への知識と技術の伝達。相談窓口として地域リハビリテーションに貢献する。
- 2 各居宅部会等への通所リハ、訪問リハの必要性を提案し、利用者ごとの個別性を考慮した目標設定や卒業の目安などをケアマネージャーへ伝えていく。一概に卒業するだけではなく、身体評価やADLと自宅環境調整など定期的に評価できる場を提供する。
- 3 各医師会、自治体、居宅部会、療法士ネットワーク等との連絡会を合同で開くなどの連携強化。

※各項目の取組目標は次頁以降に記載

II 事業実施内容等（必須の役割） ※全センター共通

スペースが足りない場合は、別紙での説明可

地域リハビリテーション力の向上		
1	取組目標	
	(1) 医療機関から退院した患者、利用者に対する継続したリハビリテーションサポートを行うために、多職種による連携を強化していく。	
	OT・PT・ST等対象の症例発表会など【連携施設の活用可】	
	実施予定回数	テーマ（予定）
	1回/29年度	若手療法士を対象として実践を通じた基本動作、歩行、摂食嚥下などの研修会を開く。装具や福祉用具などのテーマも含む
	2回 (平成30・31年度)	29年度計画の継続
	かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供【連携施設の活用可】	
	実施予定回数	テーマ（予定）
	1回/29年度	各医師会への協力の元、かかりつけ医へのリハビリテーションの必要性を伝える。退院後の通所リハ、訪問リハの必要性を伝える。
	2回 (平成30・31年度)	上記継続 通所リハ、訪問リハ施設のマップを作成して配布する。
地区医師会や地域の関係団体（医療・介護）との連携・協力予定の有無		
有・無	(団体・施設名) 足立、荒川、葛飾医師会	
(4) これまでの取組状況	・地域連携バスとして足立区医師会で参加。	
訪問・通所リハビリテーション分野への支援		
2	取組目標	
	(1) 急性期、回復期から在宅へとリハビリテーションがスムーズに移行できるように病院スタッフと地域の介護支援専門員や関係団体との連携を強化する。	
	リハ施設従事者とケアマネージャーとの交流の場の設定【連携施設の活用可】	
	実施予定回数	取組予定内容
	1回/29年度	各居宅部会等への通所リハ、訪問リハの必要性を提案し、利用者ごとの個別性を考慮した目標設定や卒業の目安などをケアマネージャーへ伝えていく。一概に卒業するだけではなく、身体評価やADLと自宅環境調整など定期的に評価できる場を提供する。
	2回 (平成30・31年度)	29年度計画の継続
	ケアマネージャーへの研修【連携施設の活用可】	
	実施予定回数	取組予定内容
	1回/29年度	協力病院の居宅支援診療所から二次医療圏内のケアマネージャー連絡体制を強化。訪問リハ、通所リハの必要性の説明、個別性に合わせた目標設定と卒業を視野に入れた社会参加。卒後の機能低下予防のために位置づけ等の利用拡大に向けた研修。
	2回 (平成30・31年度)	29年度計画の継続
地区医師会や地域の関係団体（医療・介護）との連携・協力予定の有無		
有・無	(団体・施設名) 各区医師会、各区保健所、各区内地域包括支援センター等	
2	ケアプラン相談支援【連携施設の活用可】	
	相談受付方法	相談受付日・時間
	随時電話等で受付	9:00～17:00
	これまでの取組状況	
(5)	平成18年より居宅介護支援事業所常楽を開設。 地域の急性期、回復期病院と連携を組み、通所リハビリや訪問リハビリ等に繋げる事を行っている。	
平成28年度上半期（4月～9月）のケアプラン相談支援受付実績		
プラン数	延 585件	

地域リハビリテーション関係者との連携強化											
3	(1)	取組目標 足立区、足立保健所、地域包括支援センターからの依頼によりリハビリスタッフを派遣し、転倒予防体操や筋力アップ体操を地域住民に指導している。									
	(2)	設置を予定する地域協議会（連絡会） <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">名称</th> <th style="width:40%;">参加予定機関・施設（参加予定職種）</th> <th style="width:30%;">実施予定回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(仮)区東北部 リハビリテーション協議会</td> <td>区東北部の急性期病院、回復期病院 介護事業者など</td> <td>2回／29年度</td> </tr> <tr> <td>医師、看護師、保健師、介護支援専門員 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 社会福祉士、介護福祉士、医事課</td> <td>6回（3年間計）</td> </tr> </tbody> </table>		名称	参加予定機関・施設（参加予定職種）	実施予定回数	(仮)区東北部 リハビリテーション協議会	区東北部の急性期病院、回復期病院 介護事業者など	2回／29年度	医師、看護師、保健師、介護支援専門員 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 社会福祉士、介護福祉士、医事課	6回（3年間計）
	名称	参加予定機関・施設（参加予定職種）	実施予定回数								
(仮)区東北部 リハビリテーション協議会	区東北部の急性期病院、回復期病院 介護事業者など	2回／29年度									
	医師、看護師、保健師、介護支援専門員 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 社会福祉士、介護福祉士、医事課	6回（3年間計）									
(3)	これまでの取組状況 健康応援隊の活動の一環としてリハビリスタッフを派遣。足立区からの依頼で浴場組合主催による筋力UP体操等を指導した。 ＊健康応援隊 法人内の組織。多職種で保健所等の依頼により地域住民に対し、筋力アップ体操指導や筋力、血管年齢、体組成、骨密度などを計測。必要に応じてかかりつけ医への受診等を促す										
若手理学療法士及び作業療法士の実務研修受入											
4	(1)	取組目標 ・基本動作、歩行介助など日々の業務に携わる機会が多い事に対し基本技術を向上。 ・リハビリテーション医療や介護保険などの基礎知識の向上 ・医療と介護の連携の取り方に関する基礎知識									
	(2)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">受入予定人数</th> <th style="width:70%;">研修内容（予定）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>300 人／29年度</td> <td>PT 基本動作、歩行介助などの技術的な指導。装具療法など OT 社会参加と活動性を向上を目指す介入方法 ST 摂食嚥下、高次脳機能障害に対する取り組み</td> </tr> <tr> <td>600 人 (平成30・31年度)</td> <td>上記内容の継続</td> </tr> </tbody> </table>	受入予定人数	研修内容（予定）	300 人／29年度	PT 基本動作、歩行介助などの技術的な指導。装具療法など OT 社会参加と活動性を向上を目指す介入方法 ST 摂食嚥下、高次脳機能障害に対する取り組み	600 人 (平成30・31年度)	上記内容の継続			
	受入予定人数	研修内容（予定）									
300 人／29年度	PT 基本動作、歩行介助などの技術的な指導。装具療法など OT 社会参加と活動性を向上を目指す介入方法 ST 摂食嚥下、高次脳機能障害に対する取り組み										
600 人 (平成30・31年度)	上記内容の継続										
	※スペースが足りない場合は、別紙での説明可										
Ⅲ 事業実施内容等（選択する役割）											
1	区市町村による在宅リハ支援事業等への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可										
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;">支援予定</th> <th style="width:30%;">実施自治体名</th> <th style="width:60%;">支援内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"> <input checked="" type="radio"/>有 <input type="radio"/>無 </td> <td> ・足立区 ・荒川区 ・葛飾区 </td> <td> ・訪問リハビリテーションにおける急変時の対応講習 ・在宅での家屋環境調整に関する講習 ・装具手帳を作成して在宅利用中の方の定期チェックを行う </td> </tr> </tbody> </table>	支援予定	実施自治体名	支援内容	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	・足立区 ・荒川区 ・葛飾区	・訪問リハビリテーションにおける急変時の対応講習 ・在宅での家屋環境調整に関する講習 ・装具手帳を作成して在宅利用中の方の定期チェックを行う				
	支援予定	実施自治体名	支援内容								
<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	・足立区 ・荒川区 ・葛飾区	・訪問リハビリテーションにおける急変時の対応講習 ・在宅での家屋環境調整に関する講習 ・装具手帳を作成して在宅利用中の方の定期チェックを行う									
これまでの取組状況 ・訪問リハビリにおける急変時の対応に関しては法人内でマニュアル集を作成。											
2	脳卒中医療連携推進事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可										
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;">支援予定</th> <th style="width:90%;">支援内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"> <input checked="" type="radio"/>有 <input type="radio"/>無 </td> <td> 足立区脳血管連携パス連絡会に参加 連携パスの普及に努める </td> </tr> </tbody> </table>	支援予定	支援内容	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	足立区脳血管連携パス連絡会に参加 連携パスの普及に努める						
	支援予定	支援内容									
<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	足立区脳血管連携パス連絡会に参加 連携パスの普及に努める										
これまでの取組状況 足立区脳血管連携パス連絡会に参加											
3	高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可										
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;">支援予定</th> <th style="width:90%;">支援内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"> <input checked="" type="radio"/>有 <input type="radio"/>無 </td> <td> 高次脳機能障害で悩む方のためにOT、STによる相談会等を実施 言語聴覚士の連絡会を開催し、患者・家族への支援体制強化 </td> </tr> </tbody> </table>	支援予定	支援内容	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	高次脳機能障害で悩む方のためにOT、STによる相談会等を実施 言語聴覚士の連絡会を開催し、患者・家族への支援体制強化						
	支援予定	支援内容									
<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	高次脳機能障害で悩む方のためにOT、STによる相談会等を実施 言語聴覚士の連絡会を開催し、患者・家族への支援体制強化										
これまでの取組状況 言語聴覚士による連絡会等を開催し、患者・家族への支援体制強化											

介護予防における地域リハビリテーション促進事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可				
支援予定		支援内容		
4	有	<ul style="list-style-type: none"> 各区内において定期的な健康チェックを行う。 歩行能力、バランス能力、認知、筋力などの定期的な測定。 		
	無			
これまでの取組状況				
<ul style="list-style-type: none"> 法人内での取り組みとして、足立区保健師らとともに健康チェックを定期的に行っている。 その中で筋力UP体操、転倒予防体操、栄養相談などを行っている 2016年4月～11月まで 延利用者 550人 				
地域で特にニーズの高いテーマに関する研修等（その1）				
5	区分	実施予定		
	(1)	地域のリハビリテーション従事者の研修、援助	有 ・ 無	
	(2)	直接地域住民と接する相談機関の支援	有 ・ 無	
	(3)	福祉用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援	有 ・ 無	
	(4)	地域の関係団体の支援	有 ・ 無	
	(5)	連絡会、事例検討会の実施	有 ・ 無	
	(6)	その他、地域のリハビリテーションの推進に必要な事業	有 ・ 無	
予定有とした項目については次頁も記入				
地域で特にニーズの高いテーマに関する研修等（その2）				
(1)	地域のリハビリテーション従事者の研修、援助			
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象
	基本動作、移乗動作方法、歩行介助、口腔ケア、福祉用具、装具のチェックなどの知識や技術の向上	在宅や施設を問わず医療、介護に従事しているスタッフへのリハビリテーションの専門知識を向上させ、業務効率、スキル向上へとつなげる。	身体介護者には知識、技術向上のための講習会。ケアマネージャーへは適正な福祉用具や環境調整方法、装具の正しいチェックなどの勉強会。	医療従事者 介護従事者
	地域のPTOTST連絡協議会と協力して「地域包括ケアシステム」導入に向けた勉強会			3回 (3年間)
これまでの取組状況				
居宅、地域包括などへのICFのリハビリテーションなどの勉強会を開催。施設、通所などへの摂食、嚥下、学習療法、移乗介助軽減などに関する事業者向けの講習会を施行。福祉用具専門指導士や義肢装具士からの療法士向けの勉強会を施行。				
(2)	直接地域住民と接する相談機関の支援			
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象
	困難事例に関する地域包括支援センター、居宅事業所に対する在宅支援をリハビリテーション前置の考え方でフォローしていく。	各事業所での支援員によって、リハビリテーションに対する考え方に差異が生じている。	居宅、地域包括からの相談を受け入れる窓口の設置	ケアマネージャー 医療相談員 介護施設相談員 各事業所のスタッフ
				リハビリテーション支援センター内において相談窓口を設置 平日9:00～16:00 (案)
これまでの取組状況				
地域包括支援センター、居宅支援事業所への医療と介護連携についての講習会を施行。 医療相談員、介護施設相談員、看護師、介護士へのリハビリテーションに関する相談業務を施行。 訪問リハビリテーション：訪問リハビリテーション常楽、通所系サービス：通所リハビリテーション常楽・通所リハビリテーションイルアカーサ、医療に関する事：等潤病院				

福祉用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援					
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
(3)	住宅改修にあたり、福祉住環境コーディネーターや療法士の支援が少ない	福祉住環境の専門員相談機関が少ない	福祉住環境に関する相談マップ等を作成して、配布する。 上記リハビリテーション支援センターが窓口となり、マップを郵送する。	居宅支援事業所、地域包括支援センター	2回 (3年間)
これまでの取組状況					
福祉住環境コーディネーターと連携して、療法士向けに福祉用具に関する勉強会を施行。					
地域の関係団体の支援					
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
(4)	近隣のクリニックも含め、かかりつけ医への在宅リハビリテーションの認知が低い。	在宅リハビリテーションの認知が低いために介入までに時間を要する事がある。 また通所サービスにおいても療法士による身体評価、活動参加へのアプローチなど通所ケアの重要性を伝えられていない。	各医師会の協力の元、リハビリテーションに関する地域リハマップを作成。 そこにリハビリテーションに関する説明書きも加える。内容は身体機能だけではなく、認知機能も含んだものにする。	各医師会 各居宅部会	合わせて 3回 (3年間)
これまでの取組状況					
居宅、地域包括などへの通所リハビリテーションに関する講習会を施行。 足立区保健師と協力して筋力強化、バランス強化などを指導。					
連絡会、事例検討会の実施					
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
(5)	・リハビリテーション職での関わりが少ない。同一区内での連絡会が必要。 ・多職種連携も同様に行える場所が必要。	主として回復期（急性期）と生活期リハとの交流機会場を設定。入退院でのスムーズな情報交換、装具や福祉用具などの知識や相談機関の紹介を広める必要がある。 多職種も含めた地域リハの連携が取ればなおよい。	医療機関、デイケア、訪問リハ施設での連絡会加盟施設が集まり、研修会の案内、事例グループディスカッションなどを行う。 必要に応じては既存の地域リハネットワークと合同で行うなどの協力を仰ぐ。	区東北部内の医療施設 区東北部内の介護施設	3回 (3年間)
これまでの取組状況					
足立区内におけるPOSネットワークに参加。連絡会、研修会に参加。					
その他、地域のリハビリテーションの推進に必要な事業					
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
-6	小さい事業所のリハ職は地域の研修会などへの参加が少ない場合も多い。より多くの施設の参加が、リハ職の質を高める。	上記、リハ職に関する研修会も区東北部としては広域である。支援センター協力病院、施設をお願いして協力と研修会参加を呼びかける。	支援センターより協力できる医療機関、介護施設との連携をとり上記に提案した支援内容を達成する。	区東北部内の医療施設 区東北部内の介護施設	3回 (3年間) 毎年、協力していただける医療機関、介護施設様を決める。
これまでの取組状況					
足立区POSネットワークと協力して研修会に参加					

地域リハビリテーション支援センター指定（平成29年4月）に係る調査票

医療機関名：社会医療法人社団 慈生会 等潤病院 記入年月日：平成 28年 12月20日

1 病院の概要	
所在地	足立区一ツ家4-3-4 (区東北部 医療圏)
開設年月日	昭和54年5月10日
設置目的	地域とともに生きる慈しみのトータルヘルスケアを目的に設置。併設している常楽診療所では在宅医療部門、居宅介護事業所、訪問看護、通所リハ、訪問リハ、グループホーム等を開設。地域の方に入院から在宅までの一貫した医療と介護の提供を目指す。 (地域包括支援センター「一ツ家」は足立区からの委託事業として介護予防事業 に取り組む)
診療科目	内科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器内科、循環器内科、血液浄化科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、形成外科、神経内科、泌尿器科、皮膚科、消火器内科、肛門外科、リウマチ科、形成外科
指定医療	健康、国民、労災、船員、生保、結予、原爆、救告、障害、公害
病床数	一般病床 164 床 (うちリハビリ専門病床 42 床)
訪問・通所リハビリ	<input type="checkbox"/> 訪問リハビリ (<input type="checkbox"/> 医療保険 <input type="checkbox"/> 介護保険) <input type="checkbox"/> 通所リハビリ (介護保険)
併設施設	常楽診療所 通所リハビリ、訪問リハビリ、訪問看護、居宅事業所

2 指定要件の充足状況																				
① 診療体制																				
地域におけるリハビリテーションの拠点病院としての役割を果たすことのできる専門的医療体制を有すること																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度 (4月から9月まで)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">医療従事者</td> <td>専従医師 常勤 2 名 非常勤</td> <td>常勤 2 名 非常勤</td> </tr> <tr> <td>(うちリハ専門医) 常勤 0 名 非常勤</td> <td>常勤 0 名 非常勤</td> </tr> <tr> <td>理学療法士 常勤 24 名 非常勤</td> <td>常勤 23 名 非常勤</td> </tr> <tr> <td>作業療法士 常勤 9 名 非常勤</td> <td>常勤 10 名 非常勤</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士 常勤 5 名 非常勤</td> <td>常勤 6 名 非常勤</td> </tr> <tr> <td>ソーシャルワーク従事者 常勤 4 名 非常勤</td> <td>常勤 4 名 非常勤</td> </tr> <tr> <td>医療施設</td> <td>施設基準</td> <td> <input checked="" type="checkbox"/>脳血管疾患等リハビリテーション料 (I) <input checked="" type="checkbox"/>運動器リハビリテーション料 (I) </td> </tr> </tbody> </table>		平成27年度	平成28年度 (4月から9月まで)	医療従事者	専従医師 常勤 2 名 非常勤	常勤 2 名 非常勤	(うちリハ専門医) 常勤 0 名 非常勤	常勤 0 名 非常勤	理学療法士 常勤 24 名 非常勤	常勤 23 名 非常勤	作業療法士 常勤 9 名 非常勤	常勤 10 名 非常勤	言語聴覚士 常勤 5 名 非常勤	常勤 6 名 非常勤	ソーシャルワーク従事者 常勤 4 名 非常勤	常勤 4 名 非常勤	医療施設	施設基準	<input checked="" type="checkbox"/> 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I) <input checked="" type="checkbox"/> 運動器リハビリテーション料 (I)
	平成27年度	平成28年度 (4月から9月まで)																		
医療従事者	専従医師 常勤 2 名 非常勤	常勤 2 名 非常勤																		
	(うちリハ専門医) 常勤 0 名 非常勤	常勤 0 名 非常勤																		
	理学療法士 常勤 24 名 非常勤	常勤 23 名 非常勤																		
	作業療法士 常勤 9 名 非常勤	常勤 10 名 非常勤																		
	言語聴覚士 常勤 5 名 非常勤	常勤 6 名 非常勤																		
	ソーシャルワーク従事者 常勤 4 名 非常勤	常勤 4 名 非常勤																		
医療施設	施設基準	<input checked="" type="checkbox"/> 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I) <input checked="" type="checkbox"/> 運動器リハビリテーション料 (I)																		
※指定後の診療体制や地域支援を実施する専門スタッフの充足予定等を記入してください。 等潤病院 理学療法士6名、作業療法士3名、言語聴覚士1名 合計10名予定																				

② 連携体制						
他の医療機関、福祉施設等との連携、協力関係を有すること						
		平成27年度		→	平成28年度 (4月から9月まで)	
医療機関 との連携 状況	紹介患者数	3962	人		1760	人
	(うちリハ部門)	271	人		117	人
	逆紹介患者数	3544	人		1635	人
	(うちリハ部門)	80	人		64	人
	紹介率	47.8	%	→	48.9	%
	(うちリハ部門)	55.7	%	→	58.9	%
	逆紹介率	89.4	%	→	92.9	%
(うちリハ部門)	96.3	%	→	98.4	%	
福祉施設等 との連携 状況	連携病院数	4	施設	→	4	施設
	(うちリハ部門)	0	施設	→	0	施設
	連携診療所数	5	施設	→	5	施設
(うちリハ部門)	1	施設	→	1	施設	
福祉施設等 との連携 状況	連携施設数	21	施設	→	21	施設
	(うちリハ部門)	1	施設	→	1	施設
<p>※急性期、回復期、維持期の流れを踏まえたリハビリテーションにおける連携状況を記入してください。</p> <p>リハビリカンファレンスを週1で全ての病棟で行っている。退院前カンファレンスでは協力施設のケアマネ、ヘルパー等も参加して連携を取っている。訪問リハ、通所リハスタッフは退院前から病院でのリハビリテーションを見学して情報共有を密に取っている。</p>						
③ 相談体制						
地域の医療機関、福祉施設等からのリハビリテーションに関する相談等に応じ、必要な情報を提供できる体制にあること						
相談窓口設置の有無		取組状況				
有		地域連携室にて窓口を設置して、相談があれば医師およびリハビリスタッフが対応している。外来受診後、外来リハビリや通所リハビリ、訪問リハビリ等を提供している。回復期病棟入院希望者は診療情報提供書を提出してもらうとともに面談を行い、判定会を経て転院を受けている。退院時は逆紹介状を記入し送付している。				
無		協力施設である常楽診療所での居宅支援事業所、介護老人保健施設イルアカーサの居宅支援事業所と連携を取り、通所リハビリや訪問リハビリに関する相談を行っている。場合によっては医療機関である等潤病院で外来リハビリを行う。				
④ 研修体制						
地域のリハビリテーションに携わる従事者、家族の会、又はボランティア等関係団体に対し、必要な研修を実施できる体制にあること						
研修実施の有無		取組状況				
有		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特別養護老人ホーム等の介護士に対し、腰痛予防の体操や移乗動作の方法を伝えている。 ・患者家族に対し腰痛体操や移乗方法を指導している。 ・地域包括支援センター、居宅事業所のスタッフに対してICFの考え方、地域でのリハビリテーションの研修会を施行。 				
無						